

創業 100 年を超える総合リサイクル企業、リバーが 「LaKeel Online Media Service」を採用

多言語対応の短時間動画で、グループ全体の安全知識を底上げ

株式会社ラキール（本社：東京都港区、代表取締役社長：久保 努、以下「ラキール」）は、リバー株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役：松岡 直人、以下「リバー」）の従業員教育に対する取り組みとして、動画配信型教育サービス「LaKeel Online Media Service」が採用されたことをお知らせします。



リバーは、従業員の安全衛生教育ツールとして「LaKeel Online Media Service」を採用し、2026年4月より利用を開始しました。今後は本サービスの活用を通して、安全衛生教育を拡充させることで、グループ全体の安全性強化に取り組んでいきます。

■採用の背景

リバーでは、グループ全体の安全水準の向上を目的に、安全管理活動を継続的に推進しています。これまで、安全教育テキストや社内安全ルールの読み合わせ中心に教育を実施してきましたが、「資料ベースでは理解しづらい」「1度の教育範囲に限られる」といった課題があり、教育の効果が上がっているのか実感がありませんでした。また、外国人従業員教育にあたっての多言語対応も課題でした。

こうした背景を踏まえ、多言語対応かつ視覚的に理解しやすいアニメーション教材と、短時間で学習可能なコンテンツの活用により、質の高い安全衛生教育を実現し、グループ全体の安全レベルの向上を図るため、LaKeel Online Media Service の導入を決定しました。

■採用を決めた3つの理由

- ・わかりやすいアニメーションにより、危機感も伝わり共感を得やすい
- ・職場の安全会議などで今ある集合教育の場面でそのまま活用できる
- ・外国人の従業員に対する安全衛生教育として多言語に対応している

■「LaKeel Online Media Service」の活用イメージ

安全衛生教育を中心に以下のような活用を予定しています。

- ・毎月の集合安全衛生教育において、3～4本程度の動画を視聴
- ・雇入れ時専用のパッケージを作成、入社時に視聴する事で安全意識の底上げを図る
- ・KYT(危険予知トレーニング)への活用による安全意識の強化

■導入担当者様コメント

当社では、安全は最優先であり、どの事業所・どの現場でも同じレベルの安全意識を持つことが重要だと考えています。「LaKeel Online Media Service」は、安全衛生教育の内容を整理し、分かりやすく伝えるための基盤として非常に有効でした。

今後はこの仕組みを活用しながら、より安全な職場環境づくりを進めていきたいと考えています。

■リバー株式会社について

リバー株式会社は、1904年創業の総合リサイクル企業です。関東を中心に、金属スクラップをはじめ、使用済自動車、廃家電、産業廃棄物など主に4つの資源分野でリサイクル事業を展開しています。廃棄物の引き取りから再資源化までを一貫して担う体制を強みとし、処理計画の立案などのコンサルティングを含めたワンストップサービスにより、高度循環型社会の実現に貢献しています。

■「LaKeel Online Media Service」について

「利用率が思うように上がらない」、「思ったほど効果が出ない」というこれまでのeラーニングの課題を解消する企業向け動画配信型教育サービスです。学習理論のTPACKをベースに制作されたアニメコンテンツは学習効果が高く、1本2-3分程度とマイクロコンテンツ化されており、日常業務の隙間時間や休憩時間など、いつでもどこでも学ぶことができます。「LaKeel Online Media Service」は〈点の学習〉から〈線の学習〉を実現し、より高い効果が得られる「ブレンディッド・ラーニング」と呼ばれる最新の学習メソッドを提供しています。

LaKeel Online Media Service サイト <https://om.lakeel.com>

リバー株式会社 <https://www.re-ver.co.jp>

株式会社ラキール <https://www.lakeel.com>

* 会社名、製品名等はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

* 本リリースに掲載された内容は発表日現在のものであり、予告なく変更または撤回される場合があります。また、本リリースに掲載された予測や将来の見通し等に関する情報は不確実なものであり、実際に生じる結果と異なる場合がありますので、予めご了承ください。

■本件に関するお問合せ先

株式会社ラキール

コーポレート本部 広報グループ

TEL：03-6441-3850 Email：pr@lakeel.com